

平成 21 年 7 月 24 日

第 48 回関東実業団対抗テニストーナメント大会 結果報告書

(株)本田技術研究所 栃木(女子)

選手代表：古郡 麻由

1. 大会概要
 - ・日程 平成 21 年 7 月 18 日(土)・19 日(日)
 - ・会場 栃木県総合運動公園テニスコート
 - ・主催 関東テニス協会
 - ・主管 栃木県テニス協会
 - ・後援 朝日新聞社・下野新聞社
 - ・協賛 ブリジストンスポーツ株式会社
 - ・協力 ホテルニューイタヤ

2. 試合方法
 - ・女子 8 チームによるトーナメント戦。
 - ・試合はトーナメント戦であるが、コンソレーションにより順位決定戦を行う。
 - ・複 2 試合、及び単 1 試合による対抗戦。
 - ・8 ゲームプロセットマッチ・ノーアドバンテージスコアリング方式。

3. 出場選手
 - 1. 石橋 美樹
 - 2. 今野 まゆみ
 - 3. 神原 真紀
 - 4. 木村 有希
 - 5. 坂上 歌子
 - 6. 塩野目 真弓
 - 7. 林 里恵
 - 8. 廣瀬 麻子
 - 9. 古郡 麻由

4. 試合結果

トーナメント1回戦 対 東京海上日動(東京代表) : 7月18日(土)

	本田技術研究所 栃木	0 -	東京海上日動
D 2	坂上 歌子 林 里恵	1 -	寺井 巳恵 古田 真奈
D 1	石橋 美樹 神原 真紀	2 -	細井 麻代子 望月 直美
S	今野 まゆみ	8 - < 1 >	外山 紀子

フィードインコンソレーション1回戦 対 群馬銀行(群馬代表) : 7月18日(土)

	本田技術研究所 栃木	- 1	群馬銀行
D 2	石橋 美樹 神原 真紀	- 2	山口 洋子 細谷 奈穂
D 1	林 里恵 古郡 麻由	3 -	山崎 理沙 杉江 理沙子
S	今野 まゆみ	- 3	高麗 麻依子

フィードインコンソレーション2回戦 対 神奈川県庁(神奈川代表): 19日(日)

	本田技術研究所 栃木	0 -	神奈川県庁
D 2	神原 真紀 林 里恵	0 -	佐藤 麻子 森田 由紀子
D 1	今野 まゆみ 石橋 美樹	6 - 2 打ち切り	小手 陽子 島崎 悦子
S	古郡 麻由	0 -	土屋 庸子

フィードインコンソレーション3回戦 対 栃木県庁(栃木代表): 19日(日)

	本田技術研究所 栃木	0 -	栃木県庁
D 2	塩野目 真弓 坂上 歌子	2 -	市川 泰世 岩崎 享子
D 1	木村 有希 古郡 麻由	2 -	石田 睦美 平 友美
S	林 里恵	打ち切り	篠崎 祐子

5 . 所感

トーナメント 1 回戦 対 東京海上日動 (東京代表)

東京海上日動は、急速は早くないものの、コースを上手くついてくるチームでした。

ダブルスについては、ラリーが長く続いた時、甘く入った玉をコースに打ち分けられ、ポイントをとられてしまう点、長く続くラリーで先にミスをしてしまうという点が目に付きました。自分たちの本来の攻めのテニスが出来なかったように感じました。

シングルスについては、上手くコースに打ち分けてゲームを進めていきましたが、タイブレークの末、惜しくも敗戦しました。

フィードインコンソレーション 1 回戦 対 群馬銀行 (群馬代表)

群馬銀行は、全体的に若い構成のチームで、ミスも少々見られましたが攻撃・守りが両立したチームでした。(昨年対戦暦有り：結果 0 - 2 で敗戦)

D 2 については、1 試合目の緊張が取れた効果もあり、ボレー・スマッシュでポイントをとるなど自分たちの攻めの攻撃ができ勝利しました。

D 1 については、最初 2 ゲーム先行するものの、大切なところでボレー・サーブなどのミスが続き、追い上げられてしまい最後までその流れ変えることが出来ずに敗戦してしまいました。

シングルスについては、1 試合目に引き続きシングルスに出た今野は疲労が残っていた為、本来のプレーではなかったものの、自分の体力を考え、速い球ではなくコースに打ち分けることを最優先にプレーを進めていき勝利しました。

テニスは、急速だけではないということを改めて感じました。

フィードインコンソレーション 2 回戦 対 神奈川県庁 (神奈川代表)

神奈川県庁は、ベテランさんが多くまとまったチームでした。

試合の進めは、3 面展開という進め方でした。

D 2 については、相手の佐藤・森田ペアが 2 人とも左打ちの選手で今まで経験したことがなかったことから悪戦苦闘しました。残念ながら、後まで打球の変化に対応することが出来ず敗戦する結果となりました。今後、左打ち選手へ攻撃の仕方など練習していかなければと改めて感じました。

D 1 については、平行陣を利用し攻めの姿勢で、ゲーム数を重ねていったものの、D 2・シングルの敗戦により 6 - 2 の途中打ち切りとなってしまいました。

シングルスについては、相手はあまり打ってくるのではなく繋げるプレーをする選手でした。惜しいゲームもありましたが、大切なところでミスが目立ちゲームが取れず敗戦してしまいました。

フィードインコンソレーション3回戦 対 栃木県庁（栃木代表）

予選大会でも対戦しているチームで、ベテランから若手までバランスよくいるチームです。

ダブルスD2・D1については、敗戦はしたものの今大会初出場となる選手の頑張りが光る試合内容でボレーがとても輝いていました。反省すべき点としては、ペアの返球コースが甘いなどで、相手にコースを打ち込まれてポイントを取られるケースが多かったので、今後の練習の中で、試合を意識した練習を更に積んでいきたいと感じました。

6. まとめ

昨年に続きビジネスパル関東大会に出場させていただきました。

今年は、メンバーの入れ替わりがあったものの、みんなで協力しあいながら練習に励んできました。その成果が結果に上手く出たのではないかと思います。

大会を振り返ると、第2試合 群馬銀行戦での勝利がとても大きかったと感じています。チームの勝敗がかかったシングルス戦では、第1試合でもSでタイブレークの試合をした今野選手が続けて出場することになり心配をしましたが、今野選手の強い気持ちとベンチコーチ、応援する選手全員の思いが1つになり、勝利を収めることができました。勝利した時の感動は今でも忘れられません。団体戦だからこそ感じた感動でした。

しかしながら、全試合を通して課題も多くありました。長くラリーが続くところ側がミスをしてしまいポイントをとられてしまうこと、ロブが中途半端にあがってしまい相手にスマッシュを打たれるケースが多々あったこと、ボレーの決定力不足などが挙げられます。

1ヶ月先の全国大会に向けて、上記のことを頭に入れ、再度気持ちを引き締め直し、個々選手の底上げに励みます。

最後になりましたが実業団委員会の皆様にはご支援いただき、本当にありがとうございました。今後ともご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します

以上

